



…『キラキラ』の由来…  
NPO・ボランティアなどの活動が活発になり、多くの市民の顔がキラキラ輝くようにという願いを込めました。

なくそう迷惑行為！モラル・マナーアップ北九州

NO:112 平成23年8月15日

## …つばやきサロン…

### 「身の丈を認めるという事」

自分の身の丈に合う事をしていこうと思っていた。どんな相手に対しても、自分を大きく見せようとせず、また、小さく控えめになろうとせず、今の自分を素直に表現したいと思っていた。これが意外と難しい。

周りから少しもてはやされると、気がつけば明らかに調子に乗って、「自分はすごいんだぞ」とアピールしようとしている自分がある。格上の役職の人やいわゆる「すごい人」に対しては、気がつかないうちに小さく見せようとしたり、自分の考えを押さえ、その人が認めてくれそうな事だけ選んで言ったりしている。以前は、そんな自分が嫌いだった。自分より上だと感じたら顔色を伺っている自分が、特に嫌いだった。調子に乗っている自分は絶対人に見せてはならないと思っていたし、「すごい人」と同じ目線で話せる自分でいなきゃと思っていた。

今は、少し変わってきた。調子に乗る自分、「すごい人」の顔色を伺っている自分…。何だか、この「人間臭さ」が愛おしいと思うようになった。すると、人間臭さを素直に出している人、そして、それを隠している人、実は全ての人が、本当は愛おしい存在なのではないかと思うようになった。

人って不思議ですね。自分の人間臭さを認めるようになれば、自然と人の人間臭さも認めるようになる。

もしかしたら、この人間臭さこそが自分の身の丈で、人間臭さを認める事が自分の身の丈を認める事で…。人の身の丈を認める事につながっている…のかな。

死別体験者支援 特定非営利活動法人たんぼぼの家  
理事長 早川みどり

# 第115回 サポートセンターの日 2011/7/25



## NPO活動発表会～災害ボランティアの現場から～

### ☆発表内容☆

#### 「Smile all over the world! ～東日本大震災の復興と南北スーダンの復興を願って～」

外務省の医務官として勤務していた川原は、医師としてスーダン人の援助をしたいと考え、2005年に退職し、翌年NPO法人ロシナンテスを設立しました。

現在スーダンでの医療事業、母子保健・保健教育事業、スポーツ事業、北九州との交流事業を実施しています。設立当初は住民との関係作りを優先し、地道な巡回診療を続けていました。

今では信頼関係ができ、シェリフハサバラ診療所でスーダン人による管理運営の元、診療できるようになりました。

東日本大震災の日により一時帰国して東京にいた川原は、帰国中のスケジュールを全てキャンセルし、東京都内の病院から救急車1台を借り14日には宮城県名取市に入りました。地元の医師とともに避難所での巡回診療、毎日の換気、ラジオ体操など、5月の避難所閉所まで続けました。

また、仮設住宅の集会所で子どもたちの学習支援として『寺子屋閉上(ゆりあげ)』も開講しました。巡回診療とは別働隊で被災家屋の瓦礫撤去も続けています。

スーダンでの活動も被災地での活動も、根本には人と人との繋がりにあると思います。これからも自分たちのできる、身の丈にあった心のこもった支援を行っていきたいと思っています。



NPO法人 ロシナンテス  
事務局長 海原 六郎さん

### ☆発表内容☆

#### 「被災地での北九州市の取り組み」



北九州市職員 上村 英樹さん

5月27日から6月4日まで、北九州市の震災復興支援の一環で行政職員として岩手県釜石市へ行ってきました。飛行機で東京まで行き、そこからバスに乗り換え、28日ようやく到着しました。

活動場所は、当時約70名が避難生活をしてきた釜石小学校でした。過去の震災経験から住民自らが防災組織を運営しており、私たちはそのお手伝いをする形でした。仮設トイレの掃除や自衛隊から配られる食事のチェック、受け渡し、ラジオ体操などをさせていただきました。皆さんと同じ避難所に宿泊していたため、朝5時に起き、同じ食事を食べ、夜9時に寝る生活を一週間経験しました。

震災からすでに2カ月以上が経っていたことや避難所の運営管理がしっかりしていたこともあって、活動支援自体は限られたものでしたが、地元の方々に「わざわざ遠い北九州から来てくれたことがとても嬉しい」と

と言われたことが大変印象に残っています。

私は今回の経験を通して、災害や緊急時の地域コミュニティの持つ力とその大切さを実感し、私たちの住む“まち”においても見直すべきことであると感じました。

復興支援は一過性で終わるのではなく、これからもずっと続いていかなければなりません。自分にできることをしていくこと、そして、何年か経って復興した釜石市をぜひ訪れたいと思い北九州に戻ってきました。

## イベント・ボランティア情報

◆◆NPOと行政との協働を  
推進するために大切なこと（無料）  
（行政との協働を進めるための市民活動団体を対象  
としたセミナー）

NPOにとって行政と協働する意義やNPOの専門性  
や特性が真に活かさせる協働のあり方などについて、  
一緒に考えていきます。

○日時：8月19日（金）18：30～20：30  
○会場：北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”  
○講師：川北秀人氏（IHOE代表）  
○対象：市民活動実践者等  
○定員：50名  
○申込：北九州市市民活動サポートセンター  
TEL093-562-5309  
○問合せ先：市民文化スポーツ局地域振興課  
（担当：吉田）  
TEL093-582-2111

◆◆第8回リバーサイドコンサートin紫川（無料）  
～川と出あったクラシック～  
北九州で活躍中の素晴らしい演奏家たちによる名曲を  
自然の恵みに想いをはせながら、お楽しみ下さい。

○日時：9月10日（土）11：00～19：00  
○会場：第1ステージ  
勝山橋…11：00～12：00  
第2ステージ  
水環境館…14：00～15：00  
※17：00から30分は「体験！水上ステージ」  
と題して子どもたちによる演奏があります。  
第3ステージ  
大芝生広場横水上ステージ  
17：30～19：00  
○主催：NPO法人北九州リバーサイド  
ミュージックBOX  
○問合せ先：上記、事務局  
TEL/FAX093-642-8818



## 助成金・賞情報

支援情報タイトル	支援分野	主催	締切
北九州市文化振興基金	文化・芸術	北九州市市民文化スポーツ局	9/12
社会的・文化的諸活動助成	情報化	(財)KDDI財団	9/16
TOTO水環境基金	環境	TOTO株式会社	10/10
第3回EST交通環境大賞		交通エコロジー・モビリティ財団	10/29
花王・みんなの森づくり活動助成		花王(株) / (財)都市緑化機構	10/31
きれいな川と暮らそう基金		日本河川協会	11/30
第15回「地球倫理推進賞」	福祉・医療	(社)倫理研究所	9/30
子どもたちの“こころを育む活動”大賞	こども	(公財)パナソニック教育財団	9/30

※詳細は当センターのホームページに掲載しております。

また、当センターの助成金コーナー（ラック）には紙ベースでの情報を設置しております。

## 知って納得、NPO・ボランティアのあれこれ

Q. 「被災地に救援物資を送るときに注意すること」は、どんなことですか。

A. 食料や衣服などの救援物資は、災害の初期段階では非常に役立ちますが、復興段階に入ると必要性が低下するため、無駄になってしまうこともあります。

例えば、新潟県中越地震の被災を受けた長岡市では、約47,000件、4,500トンの救援物資が届けられました。様々な救援物資が詰め合わされている段ボール箱の仕分け作業にはたくさんの方が不眠不休で取り組みましたが、半年後でもさばききれずに倉庫に大量に残っていたと言われていました。

こういった事情も絡み、ボランティア団体を中心に「個人は救援物資ではなく、義援金等で援助を」と呼びかけるところも出ています。どちらにしても、被災地への支援を考える場合、インターネットなどで必要な救援物資と送付先を確認するなどして、被災者に喜ばれるものを送りたいものです。

# NPO法人の申請・認証状況

## 全国のNPO法人の申請・認証状況

平成10年12月1日～平成23年6月30日現在

	申請受理数 (含む申請中)	認証数 (現在数)
都道府県	41,122	39,596
【福岡県】	1,494	1,448
内閣府	3,568	3,348
全国計	44,690	42,944



節電の夏～



## 北九州市のNPO法人の申請・認証状況

平成10年12月1日～平成23年7月31日現在

	受理数 (認証数+現在申請中)	認証数 (現在数)
【北九州】	270	267

### 2011年7月に認証された特定非営利活動法人

特定非営利活動法人オープンガーデン北九州

(7月8日)

特定非営利活動法人日本リンパドレナージスト協会

(7月22日)

## 定例会特集 北九州ESD協議会(45回)

前回ご紹介しましたが、北九州ESD協議会では、4つのプロジェクトを設け、活動を行っています。今回はそれぞれを少しずつ紹介します。

- ①地域ネットプロジェクト：ESDを実践する人づくり、「見える」ESDづくりとして、市民センターや図書館を拠点としたESDの実践や、イベントの企画等。
- ②調査・研究プロジェクト：調査・評価やESDを伝えるためのツールづくり(教材など)、国際活動を主に実施。
- ③広報プロジェクト：ESDを広めるための情報発信として、広報誌「未来パレットだより」の編集・発行、ホームページ充実についての話し合い。
- ④ユースプロジェクト：若者のESD活動。主に北九州市内の大学生を中心とした活動。

各定例会は、主に上記の内容を議題としていますが、それぞれが個別に実践しているESD活動の報告等、情報共有・意見交換の場としても活用されています。ESDは環境・福祉・国際・ジェンダー・人権など、様々な分野が含まれるため、加盟団体の活動も多岐に渡ります。ESDを通して、いろんな分野の人、いろんなセクターの人、いろんな世代の人たちが知り合い、対話の場をつくることで、それぞれの協働・コラボレーションが生まれるきっかけとなるよう願っています。それぞれの活動がつながり、その輪が広がっていけば、北九州のよりよいまちづくりの実現に貢献していけるのではないのでしょうか。

(次回はいよいよ最終回です！)



### 北九州市市民活動サポートセンター

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11-4

北九州市立男女共同参画センター“ムーブ”1階

TEL 093-562-5309 FAX 093-562-5310

URL <http://www2.kid.ne.jp/v-net/> E-mail: [support3@axel.ocn.ne.jp](mailto:support3@axel.ocn.ne.jp)

市民活動サポートセンターでは、NPO・ボランティア活動に関する相談や情報の提供を行っています。また、団体間のネットワークづくりの促進のため、定期的な交流会を開催しています。

◆サポートセンターの日…毎月テーマを変えて、交流会をしています。

◆専門相談員が相談に対応…月～土曜日 17:00～21:00  
日曜日・祝日 13:00～17:00

◆ミーティングコーナー…パーティーで仕切った無料の会議室。

◆掲示板スペース…団体や活動に関するチラシ等を掲示しています。

◆利用時間 月曜日～土曜日《10:00～21:00》

日曜日・祝日 《10:00～17:00》

【休館日】 8月25日(木)・9月29日(木)

### 編集後記

「断捨離」がマイブームです。「今、必要」という視点から家の中を見渡して、「いつか使うかも」「高かったのもったいない」などという気持ちを振り払い、捨てに捨てました。

ユトリができたタンスも本棚も食器棚も使いやすく、ストレスなし。とっても気持ちが良いです。

心も雑事で一杯だと、ひとの気持ちを受け入れることが難しいですね。心にもユトリがほしい。

次は心の断捨離を。どなたかそんな本、ご存知ないですか？ by yonmin105